

熊本県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 20年 3月10日(月) 報告者 労組名 くまもと阪神 氏名 児玉智勝

開催日 20年2月16日(土)

開催場所 県民交流会館パレア

参加者 児玉智勝・井手逸江

内容

熊本市長が開催している勉強会 幸山塾 に参加。今回の幸山塾のテーマは「熊本市の強み・弱みとは」で、約30名の市民(学生からお年寄りまで幅広く参加)が参加し、6班のグループに分かれ熊本市の数値・データを基に、「熊本市の強みをさらに強く弱みを少しでも強みに変えるためには？」を議論しました。

政治を主体的に捉え活動する市民を育てることを目的とした「幸山塾」。

『まちづくりフォトアルバム』



児玉班では

熊本市は、観光資源の宣伝が下手であるところ発表。熊本の良い所を理解するためにも地産地消の推進が不可欠。

井手班では

将来の子供に安心して残せるようなまちづくりを中心に議論。水資源や緑を大切に、公共交通機関を利用するなどエコ活動を発表。



まとめ・感想

若年層の現役大学生から70歳を超える年配者まで、幅広い参加者の意見は、いろいろな視点があり勉強になりました。また、参加者皆が熊本を愛しており、熊本を良くする為の議論は、1時間では足らず会議後も続いていたようです。

会場で、熊本大学法学部公共政策学科の学生と知り合うことができました。JSDまちづくりや県への制度政策要請を簡単に説明したところ、後日、「企業と行政・政治の関わり方というのは、私が専門で取り組もうとしている公共政策の分野と重なるところもあり非常に興味があります。」というメールがあり、今後の活動に繋げていければと思っています。